

各部会報告資料

- ・子ども部会(P1)
- ・就労部会(P2)
- ・相談支援部会(P3)
- ・精神障がい者地域移行支援部会(P4)

平成29年11月24日

熊本市障がい者自立支援協議会

平成 29 年 11 月 24 日

平成 29 年度 第 3 回熊本市障がい者自立支援協議会
子ども部会活動報告

【今年度の活動状況】

開催月	活 動 内 容
4 月	○ミニ研修「障がい者自立支援協議会について：熊本市障がい保健福祉課」 ○部会活動内容についての検討
5 月	○部会の今年度活動スケジュールについて（検討と確認） ○余暇支援マップの情報更新作業（「文化」「スポーツ」「親の会」に分かれ、情報の追加・修正等再確認作業）
6 月	○第 1 回障がい者自立支援協議会本会議の報告について ○事例検討（事例提供：発達協働センターよりみち）
7 月	○ミニ研修「養護施設及び乳児院における障がい児等の現状と課題について」（平成 30 年度改正に伴う保育所等訪問支援事業対象拡大にむけて） 養護施設「慈愛園 子供ホーム」、乳児院「熊本乳児院」より講話と意見交換
8 月	○事例検討（事例提供：熊本市障がい者相談支援センター いんくる） ○「余暇支援マップ」第 1 稿修正
9 月	○ミニ研修「移行支援シート運用の実際と巡回相談員の役割について」 熊本市教育委員会 総合支援課 特別支援教育室 木下 博之氏
10 月	○事例検討（事例提供：済生会熊本福祉相談支援センター・熊本市障がい者相談支援センターじょうなん） ○「余暇支援マップ（更新版）」完成
11 月	○事例検討（事例提供：児童発達支援事業所 パレット）

【今後の活動予定】

今年度は年度当初から、ミニ研修を通じた部会員の資質向上と事例検討による課題の共有及び地域の現状についての理解を進めてきた。残りの期間においても、事例検討やミニ研修を通して、子ども部会の更なる情報・教育・開発機能等の向上を図り、さらに今年度の部会の総括を行う予定である。

12 月	ミニ研修「第 5 期障がい福祉計画と第 1 期障がい児福祉計画（案）について」 ：熊本市障がい保健福祉課
1 月	ミニ研修「愛着障害について」：尾道 幸子氏（熊本市手をつなぐ育成会）
2 月	事例検討（事例提供：熊本市障がい者相談支援センター ウィズ）
3 月	余暇支援マップの情報更新作業・次年度の活動計画について

平成29年度 第3回熊本市障がい者自立支援協議会 就労部会報告

今年度の取組について（案）

【目標】

- ・ 就労についての課題意識を共有するための連携
- ・ 誰もが参加しやすくなじみやすい就労部会

【部会全体の取組】

- ・ ミニ研修の開催（毎月開催）
- ・ 就労フェアの開催（12月8日）

【各班の取組】

□当事者対話班：当事者会メンバーと協力し、就労についての対話の場をつくる

※夕方フラットやおでかけフラットを開催している

※就労フェアの企業セミナーでのグループワークを担当

□企業就労班：一般企業への就労の可能性を考える

※雇用啓発冊子「しごといく Vor.6」を作成

※就労フェアで企業向けセミナー、障がい者サポート企業の表彰式を担当

□福祉就労班：工賃向上や仕事づくりと事業所同士の連携

※はーとアラウンド熊本と熊本市と協同し販売会を開催する（年5回）

※就労フェアで展示会・商談会を担当

□Be-スケッチ班：就労部会の各班や事務局をサポートする

※ホームページの更新

運営委員会での取組

- ・ 部会長、副部会長、各班のリーダー、サブリーダー、事務局で構成
- ・ 部会の活動内容を具体化し、方向性を決める
- ・ 部会の中で吸い上げた参加者の意見やリーダーの意向等を協議し（検討）審議（決定）する

平成 29 年度 第 3 回熊本市障がい者自立支援協議会
相談支援部会報告

□全体の取組状況等

部会開催前に各班のコアメンバーを中心とした運営委員会を開催し、班ごとの進捗状況の確認や活動が行き詰っていないか等の確認作業を行っている。

また、お申し出があった場合は、部会開催時に新規サービス提供事業所等から事業所案内等を頂いている。新規開設の事業所によっては一つ一つの相談支援事業所に挨拶回りに行くことも多いようで、案内の場としても部会を活用頂いている。

□各班の取組状況等

【インフォメーションアップデート班】

・「相談支援ハンドブック」の見直し作業を引き続き行う。利用者や新人の相談支援専門員が見ても理解出来るように工夫を検討中。今後は、ヨカ余暇便利帳・インフォーマル情報の見直し・更新の検討を行う予定。

【計画見直し班】

・事業所間の引継ぎが上手くいっていないのではという意見あり。事業所間の引継ぎや連携をスムーズに行なう為にはどうしていくかを課題に、今後協議をより深めていくかを検討予定（アンケート等による実態把握が必要か等）。

【事例検討班】

・7月に行ったものの反省を踏まえ、12月に行う予定の2回目の準備中。野中式の事例検討は支援のヒントや意識付けとなり、さらに実践で活かすことによって、相談員のスキルアップに繋がると考えている。

【ガイドライン班】

・モニタリングの増量の提案書を踏まえ、平成 30 年度から実際に運用ができるように、対象者を明確にする等の協議を行う。毎回障害保健福祉課からも協議に加わってもらい、必要によってその内容を区役所担当者等にも意見を聞きながらブラッシュアップをしている。11月の部会にて部会員全員に提示をし広く意見を求める予定。

【新規事業所フォローアップ班】

・引き続き座談会形式で開設 2 年以内の相談支援事業所からの困りごとに、ベテラン相談支援専門員が方向性や対応方法等を助言。新規事業所の方からも日頃の困りごと等を具体的に相談できるので好評を得ている。

平成 29 年度 第 3 回熊本市障がい者自立支援協議会
精神障がい者地域移行支援部会（障がい者自立生活体制検討会）報告

【これまでの取り組み】

○普及啓発研修の実施

部会参加者を対象に下記のテーマで実施。

開催日	テーマ・講師等
8 月 8 日	<p>テーマ「障がい者の相談支援」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本市における障がい者の相談支援体制について 講師：障がい保健福祉課 企画調整班 中川みどり 氏 ・障害福祉サービス、地域相談支援及び計画相談支援について 講師：障がい保健福祉課 自立支援班 田上明日香 氏 ・委託相談支援事業所・指定相談支援事業所の業務について 講師：障がい者相談支援センターきらり 谷口誠基 氏 障がい者相談支援センターなでしこ 大山満子 氏
9 月 12 日	<p>テーマ「ピアサポート活用の実践報告」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日隈病院におけるピアサポートの活用について 日隈病院：中山 幸 氏、ピアサポーター：中村氏、斉藤氏 ・病院、地活でのピアサポート実践報告 ピアサポーター：小場佐氏、吉本氏、くまもと青明病院：岡 知子 氏

○区毎のロードマップに基づいた取り組みの進捗確認

区毎のグループワークを行い、ロードマップの内容と昨年度までの取り組みの進捗状況を共有した。12 月 5 日開催の地域移行支援研修会（県主催）の中で進捗を確認する予定。

○ポスター・リーフレットの作成（作業班の設置）

退院支援啓発のポスター及びリーフレットの作業班を 7 月より開始。原案を作成し、10 月部会の中で意見聴取を行った。完成後は精神科病院・相談支援事業所・区役所等に配布する予定。

【今後の予定】

- 普及啓発研修（11 月）：宇城圏域の地域移行の取り組みの実践報告
- 区毎のロードマップに基づいた取り組みと進捗報告（定期的に実施）
- 第 5 期障がい福祉計画の成果目標に関する協議
- 地域相談支援の事例経過報告（マニュアル作成に向けて）